

教育・保育及び地域子ども・子育て 支援事業の量の見込みについて

令和元年10月30日

加賀市 健康福祉部 子育て支援課

「量の見込み」の考え方について

1. 家庭類型について

母親		父親	ひとり親	パートタイム就労（産休・育休含む）			未就労
				フルタイム就労（産休・育休含む）	月 120 時間以上の就労	月 120 時間未満 48 時間以上の就労	
ひとり親		タイプA					
フルタイム就労（産休・育休含む）			タイプB	タイプC	タイプC'		
パートタイム就労（産休・育休含む）	月 120 時間以上の就労		タイプC	タイプE	タイプE'	タイプD	
	月 120 時間未満 48 時間以上の就労						
	月 48 時間未満の就労		タイプC'				
未就労				タイプD			タイプF

保育の必要性あり

保育の必要性なし

「量の見込み」の考え方について

2. 「量の見込み」の算出項目【 教育・保育の量の項目 】

No	認定区分	対 象 事 業	事業の対象家庭	調査対象年齢	
1	1号認定	教育標準時間認定	幼稚園 認定こども園	専業主婦(夫)家庭 就労時間の短い家庭	3～5歳 (3歳以上児)
	2号認定	保育認定	幼稚園	共働きで幼稚園利用のみ希望の家庭	
		保育認定	認定こども園 保育所	ひとり親家庭 共働き家庭	0～2歳 (3歳未満児)
	3号認定	保育認定	認定こども園 保育所 地域型保育		

【 地域子ども・子育て支援事業の項目 】

	対 象 事 業	事業の対象家庭	調査対象年齢
2	時間外保育事業（延長保育事業）	ひとり親家庭 共働き家庭	0～5歳
3	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	ひとり親家庭 共働き家庭	5歳 1～6年生
4	子育て短期支援事業 （ショートステイ及びトワイライトステイ）	すべての家庭	0～18歳
5	地域子育て支援拠点事業	すべての家庭	0～2歳
6	一時預かり事業 （幼稚園在園児対象の一時預かり）	専業主婦(夫)家庭	3～5歳
7	（保育所、ファミリー・サポート・センター等における一時預かり）	ひとり親家庭・共働き家庭	0～5歳
8	病児・病後児保育事業	ひとり親家庭 共働き家庭	0～5歳 1～6年生
9	ファミリー・サポート・センター事業 （子育て援助活動支援事業）	すべての家庭	0～5歳 1～6年生
10	利用者支援事業	すべての家庭	
11	妊婦健康診査事業	すべての妊婦	
12	乳児家庭全戸訪問事業	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭	
13	養育支援訪問事業	養育支援訪問事業を必要とする家庭	

「量の見込み」の考え方について

3. 「量の見込み」の算出方法

1 段階

【現在の家庭類型の算出】
ニーズ調査回答者を両親の就労状況でタイプを分類します。

タイプAからタイプFの8つの家庭類型があります。

2 段階

【潜在的な家庭類型の算出】
現在の家庭類型からさらに、両親の今後1年以内の就労意向を反映させてタイプを分類します。

市民ニーズに対応できるように、今回の制度では、潜在的な家庭類型でニーズ調査回答者の教育・保育のニーズを把握することがポイントです。
○現在パートタイムで就労している母親のフルタイムへの転換希望
○現在就労していない母親の就労希望

3 段階

【潜在的な家庭類型別の将来児童数の算出】
人口推計を算出し、各年の将来児童数と潜在的な家庭類型を掛け合わせます。

4 段階

【利用意向率の算出】
事業やサービス別に、回答者数を利用希望者数で割ります。

たとえば、病児・病後児保育事業や放課後児童クラブ等は保育を必要とする家庭に限定されています。

5 段階

【事業やサービス別の対象となる児童数の算出】
事業やサービス別に定められた家庭類型等に潜在的な家庭類型別の将来児童数を掛け合わせます。

本当に利用したい真のニーズの見極めが重要です。

6 段階

【ニーズ量の算出】
事業やサービス別に、対象となる児童数に利用意向率を掛け合わせます。

将来児童数をかけあわせることで、2020年度から2024年度まで各年度のニーズ量が算出されます。

「量の見込み」の考え方について

◆ 量の見込み、確保方策の設定

子ども・子育て支援事業計画では、教育・保育及び地域の子育て支援事業に対して、その事業に対するニーズとして推計される「量の見込み」とそれに対する提供体制を示す「確保方策」を設定することとなっている。

「量の見込み」 = 令和2年度からの5年間の市民ニーズの推計

「確保方策」 = 「量の見込み」に対して、市としてどのように整備等の対応をとるかを定めるもので、各年度の「数値目標」

◆ 量の見込みの補正

「量の見込み」は国の手引きの算出方法により算出しているが、「実績と比較し大きくかけ離れている」等の理由により、実現すべき数値目標として妥当でないものについては、現実的な利用希望となっているかを検証し、必要な補正を行う。

「量の見込み」の考え方について

◆児童数の推計結果

	年齢	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就学前児童	0歳	360	352	342	331	320
	1歳	390	368	360	349	338
	2歳	355	392	370	362	351
	3歳	399	356	393	371	363
	4歳	407	399	356	393	371
	5歳	449	405	398	355	392
	小計	2,360	2,272	2,219	2,161	2,135
小学生	6歳	462	445	401	394	351
	7歳	487	461	444	400	393
	8歳	475	487	461	444	400
	9歳	491	475	487	461	444
	10歳	518	491	475	487	461
	11歳	544	518	491	475	487
	小計	2,977	2,877	2,759	2,661	2,536
合計	5,337	5,149	4,978	4,822	4,671	

2015年（平成27年）から2019年（平成31年）の4月1日の住民基本台帳の人口を基にコーホート変化率法により推計

1号認定

(補正前)

(単位：人)

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
39	36	36	35	35

(補正後)

(単位：人)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
6	12	10	37	36	33	31	30	30	30

【補正内容】

月48時間未満の就労保護者の場合も保育認定を受けることができるため、短時間就労保護者分を補正。

2号認定（幼稚園）

(補正前)

(単位：人)

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
8	7	7	7	7

(保育園児童数(各年4月1日))

(補正後)

(単位：人)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【補正内容】

待機児童がないため、加賀市では2号認定を受けた児童は保育園・認定こども園に入園できる

2号認定（保育園・認定こども園）

(補正前)

(単位：人)

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1,172	1,083	1,071	1,045	1,051

(保育園児童数(各年4月1日))

(補正後)

(単位：人)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1,419	1,376	1,364	1,353	1,275	1,214	1,122	1,110	1,083	1,089

【補正内容】

ニーズ調査の結果に何らかの教育・保育事業を利用したいと回答した家庭、短時間就労の保護者がいる家庭を追加し、補正

3号認定（0歳）

(補正前)

(単位：人)

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
301	294	286	276	267

(上段：各年度4月1日 下段：各年度3月31日)

(補正後)

(単位：人)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
(82) 260	(78) 255	(76) 263	(69) 251	(65) 232	(72) 256	(70) 250	(68) 243	(66) 235	(64) 227

【補正内容】

今までの実績を踏まえ、人口推計×H27～H30の最大利用率で算出

4月1日最大利用率＝20％ 3月31日最大利用率＝71％

3号認定（1,2歳）

(補正前)

(単位：人)

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
683	697	669	652	632

(保育園児童数(各年4月1日))

(補正後)

(単位：人)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
731	724	711	702	652	648	661	635	619	599

【補正内容】

今までの実績を踏まえ、人口推計×87%（H27～H30の最大利用率）で算出

2 時間外保育事業

(補正前)

(単位：人)

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
342	329	321	313	309

(補正後)

(単位：人)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
631	631	577	543	533	512	493	481	469	463

【補正内容】

H27～H30の利用率は横ばいのため、人口推計×21.7%（H27～H30の平均利用率）で算出

3 放課後児童健全育成事業

(補正前)

(単位：人)

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
919	889	842	808	761

(補正後)

(単位：人)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
749	745	758	830	838	858	838	812	791	761

【補正内容】

- ・ 2 学年以降の見込みを平成28年～31年の進級による利用減少率の平均を用いて補正
- ・ これまでの実績から、今後も利用率が上昇し、R6年度に30%に達することを見込んで補正

4 子育て短期支援事業（ショートステイ）

(補正前)

(単位：年間延べ人数)

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
227	218	213	207	204

(補正後)

(単位：年間延べ人数)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
14	39	197	129	116	150	144	140	135	131

【補正内容】

日常的、緊急時に親族、友人・知人にみてもらえる人を除外し、これまでの実績と児童数の推移から補正。(H29とH30の利用率平均値を算出し、児童数の推移から見込む)

5 地域子育て支援拠点事業

(補正前)

(単位：年間延べ人数)

見込み				
R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
20,893	21,025	20,269	19,702	19,078

(補正後)

(単位：年間延べ人数)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
15,245	15,084	12,273	9,691	10,208	13,514	13,600	13,111	12,744	12,340

【補正内容】

- ・教育・保育事業利用者を除く。

6 一時預かり事業（幼稚園における一時預かり事業）

(補正前)

(単位：年間延べ人数)

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
0	0	0	0	0

(補正後)

(単位：年間延べ人数)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
87	101	100	0	0	0	0	0	0	0

【補正内容】

市内に幼稚園がないため、ニーズの見込がない

6 一時預かり事業（2号認定による定期的な利用）

（補正前）

（単位：年間延べ人数）

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
2,064	1,908	1,886	1,840	1,852

（補正後）

（単位：年間延べ人数）

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【補正内容】

2号認定を受けた児童は保育園・認定こども園に入園するため、一時預かり事業を利用することがないためニーズなしで補正

6 一時預かり事業（その他）

(補正前)

(単位：年間延べ人数)

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
8,349	8,038	1,886	1,840	1,852

(補正後)

(単位：年間延べ人数)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
996	807	719	1,129	996	983	946	924	900	889

【補正内容】

日常的、緊急時に親族、友人・知人にみてもらえる人を除いて補正

7 病児保育事業

(補正前)

(単位：年間延べ人数)

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
7,555	7,279	7,082	6,883	6,749

(補正後)

(単位：年間延べ人数)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1,819	1,692	1,477	1,467	1,400	1,442	1,391	1,345	1,303	1,262

【補正内容】

今までの実績を踏まえ、人口推計×H27～H30の平均利用率で算出
(H27～H30の平均利用率=27.02%)

8 ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動事業）

(補正前)

(単位：年間延べ人数)

見込み				
R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
616	595	571	550	525

(補正後)

(単位：年間延べ人数)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
769	1,230	519	767	554	734	708	685	663	642

【補正内容】

これまでの実績を踏まえ、人口推計×H27～H30の平均利用率で算出
(H27～H30の平均利用率=13.75%)

9 利用者支援事業

(単位：か所)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
0	1	1	1	1	1	1	1	1	1

【見込量算定条件】

量の見込みの単位：か所数

10 妊婦健康診査

(単位：利用回数)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
5,140	4,914	4,620	4,678	4,640	4,441	4,342	4,219	4,083	3,948

【見込量算定条件】

0歳児人口あたりの平均受診回数の実績値を使用して、0歳児人口推計値より算出
(H27～H30平均受診回数=12.34回)

11 乳児家庭全戸訪問事業

(単位：世帯数)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
423	420	392	339	360	378	367	355	344	333

【見込量算定条件】

生後4か月未満児を対象とするため、翌年度0歳児の人口に対する平均訪問率を使用して、0歳児人口推計値より算出

(H27～H30の平均訪問率=1.07)

12 養育支援訪問事業

(上段：育児・家事援助 下段：専門的相談支援)

(単位：延べ件数)

実績					見込み				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (見込み)	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
87 350	42 306	133 563	80 586	78 497	78 411	77 398	74 388	72 378	70 368

【見込量算定条件】

対象年齢の児童がいる家庭に対する平均訪問率の実績値を使用して、人口推計値より算出
(育児・家事援助：乳児がいる家庭を対象 H27～H30の平均訪問率=0.22)

(専門的相談支援：0歳～18歳の児童がいる家庭を対象 H27～H30の平均訪問率=0.04)